

穂高広域施設組合新ごみ処理施設整備・運営事業に係る令和2年度
事後調査報告書の概要について

3 穂高広域施設組合新ごみ処理施設整備・運営事業

(1) 事業の概要

① 事業者	穂高広域施設組合
② 事業実施区域	安曇野市
③ 事業の内容	廃棄物焼却施設の建設
④ 事業の規模	処理能力 120 t/日
⑤ 条例該当	第1種事業：ごみ焼却施設（処理能力4 t/時（96 t/日）以上）
⑥ 関係地域	松本市、安曇野市及び池田町

(2) 事業の経過

H27. 12	環境影響評価方法書公告
H29. 9	環境影響評価準備書公告
H30. 2	環境影響評価書公告
H31. 3	対象事業着手報告書提出
R 3. 4	対象事業完了報告書提出（完了年月日：R3. 2. 28）

(3) 事後調査報告書の概要

- 令和2年度は、建築工事、プラント工事、外構工事等を実施し、令和3年3月から供用開始。工事中における水象、植物、動物及び存在・供用時における水象、動物の調査結果等を報告。
- 水象（工事中及び存在・供用時）
 - ・わさび田周辺3地点において、毎月1回、水面標高を測定。工事に伴う水位変動は見られず、湿地に対する影響も認められない。
 - ・対象事業実施区域内1地点において地下水位を連続観測。5月から6月にかけて防火水槽設置に伴う掘削及び浸出水の排水が行われたが、地下水位は安定しており、地下水位の顕著な低下は見られなかった。

○ 植物（工事中）

調査項目	事後調査・環境保全措置の内容	調査結果等
クマツヅラ	生育状況確認	保全緑地の3箇所での生育を確認。生育状況は良好。
アオガヤツリ	試験播種	対象事業実施区域内の改変部で確認された個体から平成30年度に採取した種子を用いて、対象事業実施区域内の緑地において試験播種を実施し、開花・結実を確認。当年度の結果を踏まえて、令和3年度に砂地から土壌の比較的厚い場所にかけて播種を実施する予定。

○ 動物（工事中及び存在・供用時）

調査項目	事後調査計画	調査結果等
ハヤブサ	生息状況調査	令和2年度調査：対象事業実施区域周辺の利用が減少。繁殖の兆候は確認されなかった。 新施設の工事に伴うクレーンの稼働（R2. 4～R2. 9）が影響した可能性が考えられるが、対象事業実施区域から離れた場所への餌運びが観察されており、周辺一帯には変わらず生息していると判断。

※オオタカの確認頻度が高かったことから、事後調査の項目ではないが、オオタカの調査も実施。対象事業実施区域の周辺地域で営巣・育雛を確認。幼鳥が巣立ったとみられ、繁殖成功。